

ざま健康なまちづくりプラン（第2次）

中間評価報告書

令和5年3月
座間市

目次

計画策定の背景	1
計画の中間評価	1
中間評価後の方向性	1
ざま健康なまちづくりプラン体系図	2
中間評価の基準	4
評価の結果	5
成人歯科健診	6
健康相談	7
ヘルスセミナー	8
特定保健指導	10
大腸がん検診	11
胃がん検診	12
肺がん検診	13
前立腺がん検診	14
子宮がん検診	15
乳がん検診	16
胃がんリスク検診	17
妊婦健康診査	18
妊婦歯科健康診査	19
育児相談	20
特定健康診査	21
国保健康診査	22
就学時健康診断事業	23
定期健康診断事業	24
児童・生徒定期健康診断事業	25
発達相談	26
リハビリ専門職相談事業	27
自殺対策事業	28
教育相談	29
青少年相談	30

北地区講座	31
チャレンジデー	32
健康サマーフェスティンざま	33
WELOVEZAMA！健康体操講座	34
健康まつり	35
健康ウォーキング	36
市駅伝競走大会	37
市民健康マラソン大会	38
体力年齢ウォッチング	39
介護予防普及啓発事業	40
青少年フェスティバル	41
健康文化都市大学	42
健康ざま普及員活動	43
地域介護予防活動支援事業	44
四十雀倶楽部事業	45
ざま生涯学習宅配便	46
郷土の食文化講座	47
親子で郷土料理教室	48
お赤飯作り教室	49
保育付きお菓子づくり教室	50

計画策定の背景

国は、壮年期死亡の減少や健康寿命の延伸等を目的とし、平成12年3月に「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を策定しました。神奈川県では県民の健康づくりの基本方針となる「かながわ健康プラン21」を平成13年2月に策定しました。

本市では、平成17年7月に「ざま健康文化都市宣言」を宣言し、第四次座間市総合計画基本構想との整合性を取りながら、市民、地域、行政が一体となり、健康なまちづくり事業の基本方針となる「ざま健康なまちづくりプラン」を策定し、ライフステージに基づき健康づくりに取り組んできました。「ざま健康なまちづくりプラン（第2次）」は、前計画の結果を受けて平成30年度から平成39年度（令和9年度）までの10年計画で策定しました。

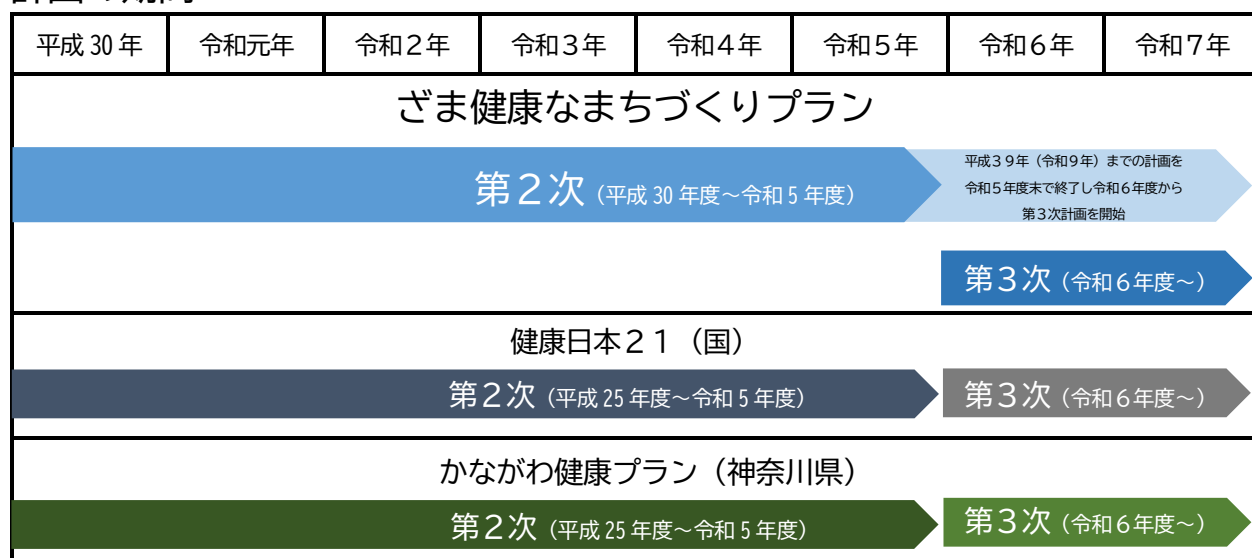
計画の中間評価

令和4年度は本計画の中間評価を行う年度にあたり、取組の進捗や目標の達成状況の確認、新たな課題の整理を行いました。

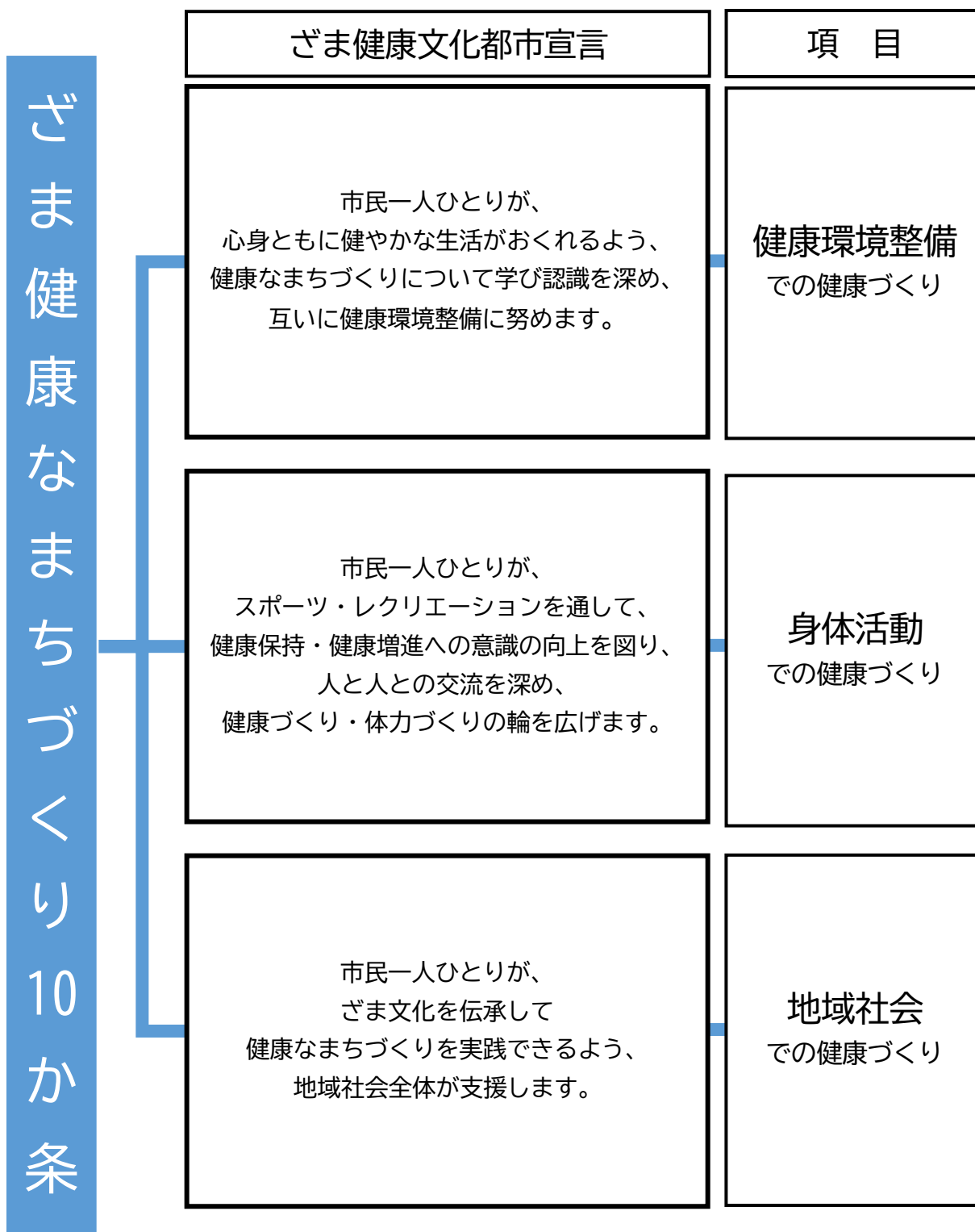
中間評価後の方向性

健康増進法第7条に基づく国の「健康日本21」、神奈川県の「かながわ健康プラン」が令和6年度に改定されます。これらに合わせ、平成30年度からの10年計画である「ざま健康なまちづくりプラン（第2次）」を令和5年で終了させ、国及び県の方針を踏まえて、整合性と連携を取りながら、中間評価に基づき「ざま健康なまちづくりプラン（第3次）」を策定します。さらに、次期計画は健康づくりと密接な関係のある「食育」と一体的に策定します。

計画の期間



ざま健康なまちづくりプラン体系図



行動目標

- ・各種健（検）診を受診しよう
- ・自分の健康状態を知ろう

- ・積極的に身体を動かそう

- ・地域社会とかかわろう

指 標

- ・成人歯科健診の受診率
- ・健康相談の開催回数
- ・ヘルスセミナーの参加人数
- ・禁煙個別健康相談の参加人数
- ・特定保健指導の実施率
- ・がん検診の受診率
- ・妊婦健康診査の受診延べ数
- ・妊婦歯科健康診査の受診率
- ・特定健康診査（40～74歳）の受診率
- ・国保健康診査の受診率
- ・就学時健康診断の各種検診受信人数
- ・定期健康診断の各種検診受信人数
- ・児童生徒定期健康診断の各種検診受信人数
- ・各種相談（子供・暮らし・地域健康・青少年）の延べ相談件数

- ・チャレンジデーの参加人数
- ・健康サマーフェスティンざまの参加人数
- ・WE LOVE ZAMA!健康体操講座の参加人数
- ・健康まつりの参加人数
- ・健康ウォーキングの参加人数
- ・市駅伝競走大会の参加人数
- ・体力年齢ウォッチングの参加人数
- ・介護予防教室・イベント
- ・青少年フェスティバルの参加人数

- ・健康文化都市大学延べ卒業生人数
- ・健康ざま普及員会延べ参加人数
- ・介護予防ボランティア講座延べ参加人数
- ・四十雀倶楽部事業延べ参加人数
- ・ざま生涯学習宅配便延べ参加人数
- ・郷土料理講座の延べ参加人数
- ・各種教室（お赤飯作り・お菓子）の延べ参加人数

中間評価の基準

取組状況の把握

各担当が取り組んでいる事業の現状や状況、今後の方向性などを確認しました。さらに、各領域の課題を認識し、解決に向けて検討しました。

指標の進捗状況

現状と計画策定時を比較し、指標の進捗状況を実績値として確認しました。計画策定時の目標値と令和3年度までの実績値から、事業ごとに現状分析し評価しました。

事業内容等の見直し

計画策定時から5年が経過し、制度等の変更、社会情勢の変化等により、事業内容等が異なる場合は現状との整合性を取りました。

今後の展開

指標の進捗状況と課題を確認し、目標達成に向けての取組や、事業の充実、強化、拡充について必要な今後の展開に向けた取組について検討しました。

新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症のまん延により、行動制限など社会環境の変化、市民に様々な負担が生じています。その影響により、事業の中止や遅延が発生し実績値は減少傾向にあります。今後は、こうした社会環境の変化に対応した事業内容を検討する必要があります。

健康なまちづくり推進委員会

指標の進捗状況を確認し、現状についての評価と、今後の方策について検討しました。

評価の結果

成人歯科健診

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
40歳以上の方が対象の歯周疾患健診				
主な指標				
成人歯科健診の受診人数				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
678	毎年600人以上	770	737	869
現状の事業評価		課題		
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたためか、令和2年度の受診者数が減少したが、座間市公式ラインアカウントなどで周知に努め、受診者数を目標以上に維持している。		より多くの市民が受診することと必要な受診者が治療につながる事が重要である。		
今後の展開				
わかりやすい結果の帳票と説明、要治療者が治療につながるよう委託先、協力医療機関と協議し・連携をとる。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・ここ数年、継続的に向上した。良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

健康相談

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 健康づくり課

事業の概要				
40歳以上を対象に健康に関する相談（身体計測、尿検査、血圧測定、健康・栄養相談）				
主な指標				
健康相談の開催回数				単位 回/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
16	維持	14	15	13
現状の事業評価		課題		
予約制にて、相談を実施している。 休止している未病センターの測定機器を健康相談で使用している。		利用者数の減少		
今後の展開				
とくに、出先（北地区文化センター）での相談者が減少しているため、今後の開催について検討が必要。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ここ数年、継続的に低下した。
- ・開催回数だけでなく参加人数についても把握し、目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

ヘルスセミナー

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 健康づくり課

事業の概要				
医師、歯科医師、歯科衛生士等によるセミナー				
主な指標				
ヘルスセミナーの参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
96	維持	74	26	52
現状の事業評価		課題		
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、定員を半分にして行っているため、目標に到達できない状況が続いている。		感染を懸念して外出を控える傾向もあり、直接対面での普及啓発が難しくなっている。		
今後の展開				
参加者の反応を見ながら講師が話をする形式は残しつつ、健康情報をどのように伝えるか検討する必要がある。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・低下傾向にあるため、目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。
- ・健康情報の発信については、LINEなどを活用し改善を行っていくこと。

禁煙個別健康相談

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 健康づくり課

事業の概要				
喫煙に対する生活習慣改善のための長期個別指導				
主な指標				
禁煙個別健康相談の参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
1	増加	3	5	2
現状の事業評価			課題	
他の事業の参加者によびかけて、参加人数が増えた年もあったが、個別相談を提案しても断られることが多い。			参加人数が少ない。	
今後の展開				
他の事業等も含め、事業の案内や啓発をすすめていく必要がある。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値を具体的に示し、目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。
--

特定保健指導

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 国保年金課

事業の概要				
特定健康診査の結果に基づいて階層化を行い、生活習慣病のリスクが高い者に対し、保健師等がサポート等を行います。				
主な指標				
特定保健指導の実施率				
				単位 %
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
3.2	10% (座間市国民健康 保険保健事業実施 計画平成35目標)	6.9	5.7	6.3
現状の事業評価		課題		
PDCAサイクルに沿った事業展開が実施できている。		令和2年度の県内平均実施率は11.4%で、県内平均以下の低い実施率。		
今後の展開				
<p>座間市国民健康保険保健事業実施計画に掲げた令和5年度特定保健指導実施率10%を達成し、生活習慣病リスク保有者の生活習慣改善を図り、より多くの人に対して疾病予防及び重症化予防を実施していきます。</p> <p>具体的には、特定保健指導の名称を「カラダ・すっきり・健康プログラム」に変更し、事業内容が対象者へわかりやすいものとし、令和3年度より実施しています。</p> <p>また、個別指導のみで実施していたものに加え、集団指導を実施することで、利用率及び実施率の向上に努めます。</p>				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・低下傾向にあるため、目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと

がん検診

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
大腸がん検診 当該年度4月1日現在40歳以上の男女を対象として、便潜血検査を行います。				
主な指標				
がん検診の受診率（大腸がん）				
				単位 %
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
10	19%（座間市国民健康保険保健事業実施計画平成35目標）	11	10	10
現状の事業評価			課題	
集団検診では、新型コロナウイルス感染症対策のため、検診日程を減らして実施した。			目標としている受診率に届いていないこと。 受診可能な他市医療機関を拡大すること。	
今後の展開				
<ul style="list-style-type: none"> ・ LINE を活用したがん検診の受診勧奨を行っていく。 ・ 検診対象者のうち、40歳、50歳の未受診者へ受診勧奨はがきを送付する。 ・ 他市の医療機関で受診できるよう座間市医師会や他市医師会と調整していく。 				

健康なまちづくり推進委員会コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

がん検診

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
<p>胃がん検診</p> <p>当該年度4月1日現在40歳以上の男女を対象として、胃部X線撮影(バリウム検査)を行います。</p>				
主な指標				
<p>がん検診の受診率(胃がん)</p> <p style="text-align: right;">単位 %</p>				
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
4	5	2.4	1.5	1.7
現状の事業評価		課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・受診率の低下 ・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、集団検診の実施回数を減らして実施を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省が定めるがん検診の指針内にて内視鏡検査が挙げられているが、当市では導入に至っていないこと。 ・目標としている受診率に届いていないこと。 		
今後の展開				
<ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡検査を導入できるよう準備を進める。 ・LINEを活用したがん検診の受診勧奨を行っていく。 				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・ここ数年、継続的に低下した。内視鏡検査を導入するなど、目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

がん検診

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
肺がん検診 当該年度4月1日現在40歳以上の男女を対象としては胃がん検診を実施しています。				
主な指標				
がん検診の受診率(肺がん)				単位 %
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
13	18	13	12	12
現状の事業評価		課題		
新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで検診を実施した。		<ul style="list-style-type: none"> ・目標としている受診率に届いていないこと。 ・他市の医療機関で受診できないこと 		
今後の展開				
<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省が定める国の指針に沿って、今後も検診を行っていく。 ・LINEを活用したがん検診の受診勧奨を行っていく。 ・他市の医療機関で受診できるよう調整していく。 				

健康なまちづくり推進委員会コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。 ・LINEの活用については、啓発だけにとどまらず手法についても検討すること。
--

がん検診

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
前立腺がん検診 当該年度4月1日現在50歳以上の男性を対象とした検査です。				
主な指標				
がん検診の受診率（前立腺がん）				単位 %
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
26	31	26	24	24
現状の事業評価			課題	
新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで検診を実施した。			目標としている受診率に届いていないこと。	
今後の展開				
<ul style="list-style-type: none"> ・LINEを活用した受診勧奨を行っていく。 ・今後も受診率向上に努め。受診勧奨を行っていく。 				

健康なまちづくり推進委員会コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。 ・LINEの活用については、啓発だけにとどまらず手法についても検討すること。
--

がん検診

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
子宮がん検診 当該年度4月1日現在20歳以上の女性を対象に子宮けい部または子宮けい部及び体部検診を実施します。				
主な指標				
がん検診の受診率（子宮がん）				単位 %
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
12	17	11	10	11
現状の事業評価		課題		
・ 集団検診にて年一回、日曜日に検診を行った。		・ 日曜日の借用場所の確保 ・ 目標としている受診率へ届いていないこと。		
今後の展開				
・ 引き続き、子宮がん検診初年度の対象者に対し、無料クーポン券の送付や見受診者への受診勧奨を行っていく。 ・ LINE を活用した受診勧奨を行っていく。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。 ・ LINE の活用については、啓発だけにとどまらず手法についても検討すること。

がん検診

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
<p>乳がん検診</p> <p>当該年度4月1日現在30歳以上の女性を対象として視触診検診を、当該年度4月1日現在40歳代偶数年齢の女性を対象としてマンモグラフィ検診1方向を、当該年度4月1日現在50歳以上の偶数年齢の女性を対象としてマンモグラフィ検診2方向を実施しています。</p>				
主な指標				
がん検診の受診率（乳がん）				
単位 %				
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
5	10	6	5	6
現状の事業評価			課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標としている受診率には届いていない ・検診初年度対象者に対し、無料クーポン券の配布を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> ・目標としている受診率に届いていないこと。 	
今後の展開				
<ul style="list-style-type: none"> ・受診者の受診動機や動向を探るために、神奈川県のご共同事業として選出された団体とイベント実施を行い、受診率向上に係るヒントを見つけ、市の受診率向上に努める。 ・LINEを活用した受診勧奨を行っていく。 				

健康なまちづくり推進委員会コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。 ・LINEの活用については、啓発だけにとどまらず手法についても検討すること。
--

がん検診

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
胃がんリスク検診 当該年度4月1日現在40歳から70歳までの男女を対象として血液検査を実施。				
主な指標				
がん検診の受診率（胃がんリスク検診）				単位 %
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
6	16	5	5	1
現状の事業評価		課題		
令和2年度で胃がんリスク検診が開始してから5年が経過し、5歳刻みで設定している対象者が一巡した。このため、令和3年度から胃がんリスク検診の受診歴がない40歳～70歳全員に実施した。		<ul style="list-style-type: none"> ・受診者が一巡したことにより、受診者数が減少している。 ・胃の内視鏡検査が導入された後の対応について検討する必要がある。 		
今後の展開				
胃の内視鏡検査が導入されるまでの数年間は検診を継続し、内視鏡検査が導入された後の対応について検討する。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・大幅に低下した状態が継続した。
- ・目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

妊婦健康診査

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
妊婦の健康管理のため14回分の妊婦健康診査についての費用を一部助成します。また、多胎妊婦については、5回分追加して補助します。				
主な指標				
妊婦健康診査の受診延べ数				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
11,184	13,064人 (子ども子育て支援 計画目標値)	10,912	10,132	10,543
現状の事業評価		課題		
健診、保健指導は妊婦が健康管理を行い、正常な出産を促すために必要である。		転出入に伴い、費用補助券の交換等が必要であり、周知が必要		
今後の展開				
妊娠届け出時及び転出入時、具体的に妊婦健康診査費用補助券の利用方法について丁寧に説明する。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

妊婦歯科健康診査

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 健康づくり課

事業の概要				
妊婦の健康管理のため、むし歯の早期発見と歯周病予防を推進します。				
主な指標				
妊婦歯科健康診査の受診率				
				単位 %
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
17	20	16.8	21.4	21.5
現状の事業評価			課題	
受診率は向上している。			第2子以降妊娠中の妊婦で、上の子どもを連れて受信したいというニーズがある。検査キットの生産中止に伴い、健診内容の変更が必要。	
今後の展開				
受診率のさらなる向上を目指す。(25%以上)				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

育児相談

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 健康づくり課

事業の概要				
保健師、栄養士、歯科衛生士による育児相談				
主な指標				
育児相談の開催回数				
				単位 回/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
28	維持	25	21	28
現状の事業評価		課題		
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催を中止した期間もあったが、令和3年度は感染症対策を講じながら例年通りの回数で実施ができた。		申込者、参加者ともに減少しており、開催場所や開催方法について検討する必要がある。		
今後の展開				
事業内容や開催方法、開催場所について精査する。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

特定健康診査

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 国保年金課

事業の概要				
当該年度4月1日現在国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳までを対象として、生活習慣病の予防のために、メタボリックシンドロームに着目した健診を行います。				
主な指標				
特定健康診査（40～74歳）の受診率				単位 %
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
29	35% (座間市国民健康保険保健事業実施計画平成35目標)	29.5	28.8	30.5
現状の事業評価		課題		
P D C A サイクルに沿った事業展開が実施できている。		令和2年度特定健康診査受診率 32%を達成できなかったこと。		
今後の展開				
<p>座間市国民健康保険保健事業実施計画に掲げた令和5年度特定健康診査受診率35%を達成し、生活習慣病リスクを早期に発見し、特定保健指導等により疾病の予防につなげる。</p> <p>具体的には、A I を使用し特定健康診査未受診者を階層化したうえで、特定健康診査未受診者それぞれの特性にあった勧奨ハガキを送付することにより、受診行動を促します。</p> <p>また、職員による電話勧奨の際に、健診受診料無料世帯への重点架電の実施や、コロナ禍においても効率的な電話勧奨が実施できるようトークスクリプトを再検討することで、目標値の達成を目指します。</p>				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

国保健康診査

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 国保年金課

事業の概要				
当該年度4月1日現在国民健康保険加入者のうち、35歳から39歳までを対象として、生活習慣病の予防のために、メタボリックシンドロームに着目した健診を行います。				
主な指標				
国保健康診査の受診率				
				単位 %
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
8	増加	6.4	7.3	7.3
現状の事業評価			課題	
P D C A サイクルに沿った事業展開ができていない。			目標値の設定ができていない。	
今後の展開				
<p>法定業務である特定健康診査とは違い、市独自で実施している健康診査のため、事業を実施することが目標となっている。</p> <p>35歳という早期から健康診査を受診する機会をつくることで、特定健康診査の受診率向上につなげていきます。</p>				

健康なまちづくり推進委員会コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値を具体的に示し、目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと

就学時健康診断事業

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 学校教育課

事業の概要				
来年度の就学予定者の内科、耳鼻科、歯科等の健康診断を行います。				
主な指標				
就学時健康診断の各種検診受診人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
1,050	対象者全員	991	949	966
現状の事業評価		課題		
<p>受診率について、令和元年度、令和2年度、令和3年度の3箇年平均は96%で、概ね良好です。</p> <p>また、未受診者に対し、通知を送付し、代替日での受診を案内しました。</p>		<p>受診率を上げるためには、未受診者に対してのフォローが重要となります。新型コロナウイルスの影響により、感染不安や発熱等感染疑いによる未受診者がいますので、受診者が安心できる会場整備や代替日での受診を案内することが必要です。</p>		
今後の展開				
<p>就学時健康診断は、学校教育を受けるにあたり、幼児等の健康上の課題について保護者の関心を深める大切な機会です。受診案内の送付やホームページを利用した対象者への周知の徹底、未受診者に対し代替日での受診案内通知の送付については継続して取り組みます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、消毒アルコールの設置や会場の換気の徹底等に取り組み、対象者が安心して健康診断を受診できる会場を整備します。</p>				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。
- ・ 不登校の生徒及び私学の生徒についてもフォローができるよう努めていくこと。

定期健康診断事業

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 学校教育課

事業の概要				
各学校において、児童生徒の結核予防検診及び内科、耳鼻科、眼科、歯科の定期健康診断を行います。				
主な指標				
定期健康診断の各種検診受診人数				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
18,569	対象者全員	18,384	18,185	18,055
現状の事業評価		課題		
内科検診や歯科検診等を行い、早期の疾病発見や治療開始に結び付くように努めました。内科検診、歯科検診の受診率については、令和元年度、令和2年度、令和3年度の3箇年平均は98%と高く、概ね良好です。		新型コロナウイルスの影響により、コロナウイルスの罹患や発熱等感染疑いによる未受診者がいますので、多くの児童生徒が受診できるように検診日を複数日設ける必要があります。		
今後の展開				
学校における健康診断は、児童生徒の健康の保持増進を図るとともに、児童生徒が自分の健康状態を認識する大切な機会です。内科検診や歯科検診等の各種健康診断では、検診日を複数日設け、多くの児童生徒が受診できるように継続して努めます。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

児童・生徒定期健康診断事業

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 各種健(検)診を受診しよう

担当 学校教育課

事業の概要				
各学校において、児童生徒の尿検査、心臓病検査を行います。				
主な指標				
児童生徒定期健康診断の各種検診受診人数				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
11,366	対象者全員	11,253	11,154	11,118
現状の事業評価		課題		
尿検査や心臓病検査等を行い、早期の疾病発見や治療開始に結び付くように努めました。尿検査、心臓病検査の受診率については、令和元年度、令和2年度、令和3年度の3箇年平均は98%と高く、概ね良好です。		尿検査や心臓病検査の未受診者に対して、検査予備日を設けて受診を案内することで疾病の早期発見につなげる必要があります。		
今後の展開				
学校における健康診断は、学校生活に送るに当たり支障があるかどうか疾病をスクリーニングし、健康状態を把握する大切な機会です。慢性腎炎・糖尿病、心疾患の早期発見につながる尿検査や心臓病検査については、未受診者に対し、検査予備日を設けて受診を案内することを継続して取り組みます。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

発達相談

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 障がい福祉課

事業の概要				
乳幼児期の運動発達面での心配について、理学療法士による相談を市民健康センターで実施しています。				
主な指標				
各種相談（子供・暮らし・地域健康・青少年）の延べ相談件数				
単位 延べ件数				
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
50	維持	86	36	56
現状の事業評価			課題	
健診や育児相談等からの紹介や申込にて相談を実施している。			特になし	
今後の展開				
引き続き関係機関と連携をとりながら、事業継続を行っていく。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・次年度以降も、相談者に寄り添い継続していけるよう努めていくこと。

リハビリ専門職相談事業

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 障がい福祉課

事業の概要				
障がいのある方（小学生～40歳未満、病院などでリハビリを受けていない方）やその家族に対して、理学療法士、作業療法士による相談支援を行っております。				
主な指標				
各種相談（子供・暮らし・地域健康・青少年）の延べ相談件数				
単位 延べ件数				
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
136	維持	160	69	76
現状の事業評価		課題		
学齢の障がい児や障がい者及びその家族に対して相談を行い、関係機関と連携をとっている。		療育機関との役割分担の明確化		
今後の展開				
座間市児童発達支援センター開設予定のため、事業の必要性について再評価を行っていく。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・次年度以降も、相談者に寄り添い継続していけるよう努めていくこと。

自殺対策事業

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 障がい福祉課

事業の概要				
自殺予防の相談、広報、人材育成等				
主な指標				
各種相談（子供・暮らし・地域健康・青少年）の延べ相談件数				
単位 延べ件数				
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
6	維持	40	24	11
現状の事業評価			課題	
相談内容により、関係機関と連携をとっている。			相談件数は減少傾向ではあるが、相談件数と自殺者数は比例していない。	
今後の展開				
相談件数が多ければ自殺対策が進んでいるともいえないので、今後、自殺対策として別の手法も検討していきたい。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・他の手法も検討しながら、相談者に寄り添い、事業を継続していけるよう努めていくこと。

教育相談

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 教育研究所

事業の概要				
子供の教育について電話相談・面談相談を行います。				
主な指標				
各種相談（子供・暮らし・地域健康・青少年）の延べ相談件数				
単位 延べ件数				
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
260(新規)/1,222	維持	1,140	1,095	1,096
現状の事業評価		課題		
平成29年度から、小学校へ学校教育心理相談員を配置したことにより、教育研究所での電話・来所相談件数が減少した。学校での教育相談と教育研究所での相談の連携体制が構築され、より丁寧な支援が図られている。		学校での教育相談の充実により相談件数の減少がみられたが、現在は高止まりの状況にある。相談内容も多様化・複雑化しており、他機関との連携が以前にも増して重要になっている。また、相談室が一か所しかなく、環境面で苦慮している。		
今後の展開				
学校教育心理相談員の派遣回数増加や、教育相談コーディネーター教員、スクールソーシャルワーカー、家庭訪問相談員、市役所内関係機関、児童相談所等とのネットワークを有効活用し、情報共有しながら支援の輪を広げ対応していく。また、複雑化する相談内容に対応するため、スーパーバイザーの指導のもとケース会議を開催し、支援体制の強化に努める。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・次年度以降も、相談者に寄り添い継続していけるよう努めていくこと。

青少年相談

項目 健康環境整備での健康づくり 行動目標 自分の健康状態を知ろう

担当 青少年相談室

事業の概要				
青少年（義務教育修了後から30歳未満まで）の身上問題や非行問題等についての相談				
主な指標				
各種相談（子供・暮らし・地域健康・青少年）の延べ相談件数				
単位 延べ件数				
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
176	維持	300	208	155
現状の事業評価			課題	
相談件数は減少傾向にあるが、様々な相談に適切に対応してきた。			相談に繋がっていない対象者の把握	
今後の展開				
引き続き様々な相談に対して、丁寧に対応していく。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・次年度以降も、相談者に寄り添い継続していけるよう努めていくこと。
- ・相談窓口の周知については、LINEなどを活用し、改善に努めること。

北地区講座

項目 地域社会での健康づくり

行動目標 地域社会とかがわろう

担当 北地区文化センター

事業の概要				
北地区文化センターを通じて地域住民間の交流の場を提供しながら、健康、環境、地域問題といった暮らしを活性化させるための様々な学びの機会（北地区講座）を提供する。				
主な指標				
各種相談（子供・暮らし・地域健康・青少年）の延べ相談件数				
単位 延べ件数				
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
172	維持	90人	16人	44人
現状の事業評価		課題		
コロナ禍で講座の開催を見合わせていたが、感染対策を継続し講座を開催している。		地域住民が求める健康に関する学びをいかに適切に捉えていくか（ニーズの把握）。		
今後の展開				
センター利用団体、医療関係者、社協、医薬品類販売業者等といった方々と機会を捉えながら情報交換を図り、地域住民が求める健康に関する学びを適切に捉えたい。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

チャレンジデー

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 スポーツ課

事業の概要				
1日15分以上継続して運動した人数（人口の何%）を同規模市との対戦で競います。地域コミュニティの活性化、健康意識と郷土愛の高揚を図ります。				
主な指標				
チャレンジデーの参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
47,313	40%増加	69,402	0	0
現状の事業評価		課題		
「運動のきっかけづくり」を目的として、平成27年から実施してきたが、平成30年には同プランの目標値に達した。また、新型コロナウイルス感染症対策により、令和2、3年度は事業を中止した。		同事業の参加者数は、通勤、買い物などの人数も含むため、本来の目的である「運動のきっかけづくり」に繋がるのか評価が難しい。同事業の目的は、どちらかという郷土愛、地域への帰属意識の高揚にあると感じる。		
今後の展開				
令和3年度をもって終了することとした。今後は、既存の全戸配布冊子にスポーツに関する事業及び施設等を掲載し、より多くの市民に情報提供をして「運動のきっかけづくり」に努めることとする。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

健康サマーフェスティンざま

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 健康づくり課

事業の概要				
医師会や歯科医師会等の市内団体の協力のもと、各種検診、相談、体験コーナーを設け、市民参加型のイベントを年1回、7月に開催している。				
主な指標				
健康サマーフェスティンざまの参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
1,500	30%増加	2,276	中止	121
現状の事業評価			課題	
<p>参加者は増加傾向にあり夏の恒例行事として市民に浸透しつつあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。</p> <p>令和3年度は、引き続きコロナ禍であったため感染症対策として、会場をハーモニーホール座間小ホールに、内容を講演会に変更し規模を縮小して開催した。</p>			<p>参加者は増加傾向にあったものの、参加者のほとんどが高齢者である。</p>	
今後の展開				
<p>市民に浸透し好評ではあるが、事業開始当初から令和元年まで形を変えずに実施していたため、参加者は高齢者のリピーターが大半を占めている。</p> <p>全市民を対象としたイベントであるため、今後は社会情勢や市民のニーズを捉えて、誰もが参加でき参加したくなるように開催方法を検討する必要がある。</p>				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

WELOVEZAMA！健康体操講座

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 健康づくり課

事業の概要				
年に数回、市民の歌「WE LOVE ZAMA!」に合わせたリズム体操の講座を開催します。また、地域のコミュニティセンター等でも月に数回講座を開催します。				
主な指標				
WELOVEZAMA！健康体操講座の参加人数				単位 人／年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
2,496	30%増加	1979	186	491
現状の事業評価		課題		
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、年数回の講座を行っていたイベントが中止となり、開催することができなかった。</p> <p>また、コミュニティセンターでの講座も令和元年3月以降、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の際は中止、それ以外の期間も感染防止対策として1講座当たりの人数を制限するなどした。</p>		<p>現状の事業の実施方法では、人が集まるイベントや、コミュニティセンターの室内での運動となり、感染症対策が必要な場合、参加人数を制限せざるを得ない。</p> <p>リモートでの参加など、感染対策が必要な状況下でも実行可能かつ、積極的に体を動かすきっかけとなるような事業の実施方法を検討する。</p>		
今後の展開				
事業の目的や感染症対策を踏まえて実施方法を検討していく。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 慣例的に行われているため、年齢層やターゲットをきちんと定め、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

健康まつり

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 健康づくり課

事業の概要				
市民ふるさとまつりと同時開催。市内の保健衛生関係団体等で実行委員会を組織し、健康づくりのイベントを実施します。内容は、体力測定、歯の相談、骨健康度測定、献血、各種相談、展示等。				
主な指標				
健康まつりの参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
5,680	10%増加	4,944	中止	中止
現状の事業評価		課題		
新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、令和2年度より健康まつりの開催を中止している。		新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、市内中学校の体育館を使用したイベントは開催が難しい。感染対策をとりながら、健康づくりのイベントをどのように開催していくのかが課題である。		
今後の展開				
感染対策を行いながら健康づくりのイベントが行うことができるのか、検討が必要である。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

健康ウォーキング

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 スポーツ課

事業の概要				
ウォーキングをすることにより「豊かな自然」と「人」との触れ合いを通して、市民の健康増進及び体力づくりを図ります。				
主な指標				
健康ウォーキングの参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
98	20%増加	0	109	155
現状の事業評価			課題	
ウォーキングは、誰もが気軽に参加できる事業であり、令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、坂道ウォーキングガイドを活用し、個人で歩く報告形式で実施した。同事業は、健康増進、体力づくりに容易に取り組むことができることから、できるだけ多くの市民に参加していただきたい事業の一つと考える。			同プランの10年後の目標値は120人弱としているが、誰もが参加しやすい事業であるにも関わらず、参加人数がそれほど多くない。開催方法等が要因と思われる。	
今後の展開				
より多くの市民に参加していただける方法などを検討しながら、今後も継続して実施する。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・ 目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

市駅伝競走大会

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 スポーツ課

事業の概要				
市内周回コースの駅伝大会、市内外から参加できる健康増進及び体力づくりを図ります。				
主な指標				
市駅伝競走大会の参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
457	20%増加	0	0	0
現状の事業評価		課題		
平成30年度は、市役所をスタート・ゴールとした周回コースで98チーム(420人)の参加により例年どおり実施した。同大会は、競技スポーツの振興に寄与する事業である。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度から3年連続で中止している。		公道で実施するため、座間警察の道路使用許可が必要である。道路安全管理上、座間警察の許可が下りなくなった場合は、事業の実施ができなくなる。		
今後の展開				
今後も継続して実施する。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

市民健康マラソン大会

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 スポーツ課

事業の概要				
市民の健康増進・体力づくりを図るとともに、市民のスポーツへの意識の高揚を図ります。				
主な指標				
市民健康マラソン大会の参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
865	20%増加	754	283	337
現状の事業評価		課題		
令和元年度は、従来どおり相模川グラウンド周辺の道路で開催し、令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、リモート開催（報告形式）としたため、参加者が減少した。例年数百人規模と参加者も非常に多く、当課にとっての一大事業となっている。		公道で実施するため、座間警察の道路使用許可が必要である。道路安全管理上、座間警察の許可が下りなくなった場合は、従来通りの集合形式での開催ができなくなる。		
今後の展開				
今後も継続して実施する。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

体力年齢ウォッチング

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 スポーツ課

事業の概要				
「体力測定」、「健康体操」を行い、健康運動指導士が結果に基づいた運動相談を行います。				
主な指標				
体力年齢ウォッチングの参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
319	10%増加	362	0	0
現状の事業評価		課題		
<p>健康サマーフェスタ(7月)及び健康まつり(11月)の会場で実施している。健康運動指導士が測定結果に基づき、自身に合う運動の実施や生活習慣の改善を指導することにより、今後の健康管理に役立ててもらおう事業となっている。</p> <p>令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p>		<p>健康運動指導士による指導等の回数を増やしたり、日常的に行うことは困難であり、事業実施回数等については限度がある。</p>		
今後の展開				
より多くの市民に参加していただける方法などを検討しながら、今後も継続して実施する。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・地域に密着した開催方法など、必要な考察・改善を行っていくこと。

介護予防普及啓発事業

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 介護保険課

事業の概要				
介護予防活動の普及、啓発を行う。				
主な指標				
介護予防教室・イベントの参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
1,446	15%増加	5,166	2,689	3,393
現状の事業評価		課題		
令和2年度以降は、感染症予防対策を講じて事業を実施した。密閉、密集、密接を避けるために、定員を減らし事業を展開したため、参加人数が減っている。		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策を講じて行う介護予防教室等の開催方法と集客 ・自宅でも介護予防に取り組めるプログラム内容の充実 		
今後の展開				
感染症予防対策を講じて行う介護予防教室、イベント、講演会等の継続				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・非常に良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

青少年フェスティバル

項目 身体活動での健康づくり 行動目標 積極的に身体を動かそう

担当 青少年課

事業の概要				
主に各中学生を対象にした、各種イベントの開催				
主な指標				
青少年フェスティバルの参加人数				
				単位 人/年
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
1,815	30%増加	1,898	0	522
現状の事業評価		課題		
新型コロナウイルス感染症感染対策として中止 又は規模縮小のため参加人数は減少している。		感染症対策を踏まえた事業実施内容の見直し により、参加しやすい環境を整え参加人数増加 を図る。		
今後の展開				
引き続き市内各中学校区に在住する地域の子どもたちを対象に、ニュースポーツや伝統的な昔遊び 等を行う。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

健康文化都市大学

項目 地域社会での健康づくり 行動目標 地域社会とかがわろう

担当 健康づくり課

事業の概要				
<p>健康なまちづくりについて幅広く学ぶため複数回の多彩な講座を開催します。</p> <p>健康について身体的な分野にとどまらず精神的・社会的な分野についてなど幅広く学ぶ。</p> <p>健康文化都市大学で学んだことを生かし地域の健康なまちづくりの地域リーダーとして活躍する人材を育成する。</p>				
主な指標				
健康文化都市大学延べ卒業生人数				
単位 延べ人数				
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
727	1,000	837	856	875
現状の事業評価		課題		
<p>参加者から好評を得ており、口コミで市民に浸透しつつある。</p> <p>健康保持・健康増進への意識が向上し、地域の交流が深まり、健康づくり・体力づくりの輪が広がっている。</p> <p>令和2年度からは新型コロナウイルス感染症感染対策として、申込定員数を減らし開催規模を縮小し開催した。</p>		<p>申込は多数あるが、開催方法・内容について事業当初から変化があまりないため、ニーズや実態に合わせて変化させる必要がある。</p>		
今後の展開				
<p>市民に浸透し好評ではあるが、事業開始当初から形を変えずに実施していたため、参加者は高齢者が大半を占めている。</p> <p>全市民を対象とした事業であるため、今後は社会情勢や市民のニーズを捉えて、誰もが参加でき参加したくなるように開催方法を検討する必要がある。</p>				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

健康ざま普及員活動

項目 地域社会での健康づくり 行動目標 地域社会とかかわろう

担当 健康づくり課

事業の概要				
市民が自ら健康を守り育てる市民活動として、地域に根ざした健康づくりを推進します。				
主な指標				
健康ざま普及員会延べ参加人数				
				単位 延べ人数
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
540	維持	842	180	378
現状の事業評価			課題	
令和4年度に普及員の委嘱式を行った。養成講座を開催し、各地区での活動を開始している。緑ヶ丘地区は、普及員を推薦せずに担当保健師が自治会に関わることで地区組織活動を展開する試みをしている。			自治会の会員数が減り、推薦が難しい。コロナ禍であり、自治会の事業自体も減少傾向にあり、自治会と共に活動する機会が減っている。	
今後の展開				
普及員の在り方や、地区組織活動の方法の検討が必要。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・地域と一緒にいることが大切だと感じることから、次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

地域介護予防活動支援事業

項目 地域社会での健康づくり 行動目標 地域社会とかかわろう

担当 介護保険課

事業の概要				
地域住民による主体的な介護予防活動を推進するボランティアの養成や支援を行う。				
主な指標				
介護予防ボランティア講座延べ参加人数				単位 延べ人数
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
249	250	673	520	275
現状の事業評価		課題		
平成29年度からは、地域住民による主体的な介護予防活動を推進するボランティアの養成や支援について取組み、延べ参加者人数が概ね増加している。		介護予防活動を推進するボランティアが活動するために必要な講座内容の充実		
今後の展開				
高齢者の通いの場づくりに寄与するボランティアの養成や支援を継続する。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

四十雀倶楽部事業

項目 地域社会での健康づくり 行動目標 地域社会とかかわろう

担当 福祉長寿課

事業の概要				
令和2年度（令和3年3月31日）事業終了。 介護予防の役割を長年担ってきましたが、当市においても介護保険制度による介護予防事業が充実し、今後より専門性の高い介護予防事業をより多くの方にご利用いただくために、発展的に事業終了することとしました。				
主な指標				
四十雀倶楽部事業延べ参加人数				
				単位 延べ人数
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
3,324	6,000	3,726	2,140	—
現状の事業評価		課題		
今後の展開				

健康なまちづくり推進委員会コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・

ざま生涯学習宅配便

項目 地域社会での健康づくり 行動目標 地域社会とかかわろう

担当 生涯学習課

事業の概要				
市で行っている事業等について職員が出向き講義や実習を行います。				
主な指標				
ざま生涯学習宅配便延べ参加人数				
				単位 延べ人数
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
12,024	15,000	10,572	4,933	3,510
現状の事業評価		課題		
パンフレットを各公共施設に配架するなどして市民に周知。市民への学習の場の提供の一環として根付いている。		職員派遣希望の多いメニュー、少ないメニューの偏りがみられる。また、メニュー登録の無い課もみられる。なお、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響が著しく、職員派遣希望の減少やキャンセルが目立つ。		
今後の展開				
よりバラエティに富み、市民の需要に沿った事業展開とするために、各課に新メニューの登録の呼びかけを行っていく。また、より市民が利用しやすい申請方法も検討していく。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・時代のニーズに対応したメニューの登録を呼び掛けるなど、目標達成に向けて必要な考察・改善を行っていくこと。

郷土の食文化講座

項目 地域社会での健康づくり 行動目標 地域社会とかがわろう

担当 生涯学習課

事業の概要				
座間の郷土料理などを実習紹介します。				
主な指標				
郷土料理講座の延べ参加人数				
				単位 延べ人数
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
139	175	90	39	48
現状の事業評価		課題		
座間で農業を営む女性のグループを講師とし、地場産野菜を中心とした食材を用いて、農家で伝統的に食されていたレシピ等を紹介している。		コロナ禍の影響により、参加人数は当初見込みの半分程度に絞らなければならない。 参加者の再参加率が高い。 講師が高齢化している。		
今後の展開				
参加者募集期間にチラシを公民館に設置するなどして周知に努め、新規の参加者を募る。 また、次世代の講師を育成し将来の世代交代に備える。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・ 目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

親子で郷土料理教室

項目 地域社会での健康づくり 行動目標 地域社会とかかわろう

担当 公民館

事業の概要				
地場産の大豆を使い、伝統的な造り方で味噌づくりを体験します。				
主な指標				
各種教室（お赤飯作り・お菓子）の延べ参加人数				
				単位 延べ人数
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
23	25	37	38	40
現状の事業評価		課題		
当初計画を概ね上回っている		材料及び指導者の確保		
今後の展開				
館として本講座の目指す食育目標は順調であり今後も継続していきたい				

健康なまちづくり推進委員会コメント

・良好な状態であると思われる。この状態を次年度以降も継続していけるよう努めていくこと。

お赤飯作り教室

項目 地域社会での健康づくり 行動目標 地域社会とかがわろう

担当 東地区文化センター

事業の概要				
蒸し器で作るお赤飯の調理法を学びます。				
主な指標				
各種教室（お赤飯作り・お菓子）の延べ参加人数				単位 延べ人数
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
23	25	0	0	0
現状の事業評価		課題		
令和元年度より、標記講座が実施できなかった。		コロナ禍の影響などにより、料理系講座が実施できなかった。		
今後の展開				
料理系サークルも活動がされていない状況もあり、今後、事業計画については実施方法も含め、検討を要する。				

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。

保育付きお菓子づくり教室

項目 地域社会での健康づくり 行動目標 地域社会とかかわろう

担当 東地区文化センター

事業の概要					
子育て中でも自宅で簡単に作れるお菓子作りを学びます。					
主な指標					
各種教室（お赤飯作り・お菓子）の延べ参加人数				単位	延べ人数
平成28年度実績	10年後目標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	
23	25	0	0	0	
現状の事業評価			課題		
令和元年度以降、標記講座が実施できなかった。			コロナ禍の影響などにより、保育ボランティア団体の活動自粛など保育付き講座が実施できなかった。		
今後の展開					
保育ボランティア団体の育成と料理講座の方法も含め、事業計画について、今後検討を要する。					

健康なまちづくり推進委員会コメント

- ・目標達成に向けて、発展的に事業の見直しや改善を行っていくこと。